

令和7年度 社会教育関係事業計画書

	全体説明(今年度の特徴的な内容)
文化・スポーツ振興課	市民誰もが、文化芸術及びスポーツ活動に親しむことができるよう、市民や各種団体の運営支援を行うとともに、連携を図りながら、市全体の文化芸術及びスポーツ活動の普及振興に努める。
生涯学習課	いつでも、どこでも、誰でも、何度でも学ぶことができる環境づくり、学びの支援を目指し、中央生涯学習センターの運営、生涯学習相談員による相談支援、講座実施などを行う。 地域の社会教育活動について必要な支援を行う。また、すすく教室や中学校教育支援事業などの地域学校協働活動を推進する。 放課後児童クラブについて、就労等の入会要件を満たす世帯の児童全ての受け入れが継続できるよう、老朽化や狭隘化の課題がある施設について、改修や、学校施設の活用による保育環境の整備に取り組む。
文化財保存活用課	「長岡京市文化財保存活用地域計画」に基づき、歴史文化の特徴「7つのものがたり」、文化財保存・活用の目指す8つのビジョン、4つの基本方針に従い、さまざまな主体の参画の中で、文化財の着実な調査・研究、保存・活用を進めていく。令和8年度の、新庁舎歴史資料展示室の完成を見据えながら、地域計画のリーディングプロジェクトである「(仮称)長岡京市ふるさと資料館の整備」、「周遊サイン等の整備」、「財源確保のための取組」などを推進するため、市民、所有者、事業者、来訪者などのステークホルダーが広く文化財に親しみながら協働を進める仕組みや仕掛けの構築を目指し、「歴史文化×めぐる。“かしこ暮らしっく”な日常」を創造していく。 また、同計画を推進するため、市民、特に子どもたちのふるさとへの愛着を醸成できるように「“7つのものがたり”未来・まちなかプロジェクト」事業等を行う。
中央公民館	公民館においては、様々な年代を対象にして、多くの講座を実施している。特に市民企画講座については、31企画の応募があり、より幅広いニーズに対応することができる。公民館講座は、参加者のみならず、企画・講師側にとっても成長できる機会になっている。 また、京都西山短期大学と生涯学習・地域学習について連携協定を締結しており、教員の専門性を活かした共同講座を開催し、市民にとってより深い学びの場を提供している。
図書館	令和3年度より、読書ボランティアや市民団体等のアイデアや能力を活用してもらう市民提案型に事業をシフトした。令和7年度についても、引き続き絵本の読み聞かせ等の乳幼児を中心とした読書啓発事業と中高生から大人に向けた読書啓発事業の充実を図っていく。
教育支援センター	いじめ、不登校などの教育に関する相談のほか、子どもの発達や子育てに関する相談について、専門的な指導やアドバイスが受けられるよう、教育に関する保護者の相談体制を充実させる。また、相談窓口やアゼリアひろばについての周知も市内全児童・生徒に行う。
北開田児童館	乳幼児親子向け事業「子育てサロン」の利用者は前年度より増加しており、引き続き乳幼児親子の交流、支援の場として充実させる。 令和7年度についても、利用者のニーズに合った支援事業を実施していく。

令和7年度 社会教育関係事業計画書

基本目標	生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり
基本施策	生涯を通じた多様な学びの充実と人権教育の推進

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
①生涯を通じた学びの 機会の充実	中央生涯学習センター 事業 (生涯学習課)	通年	市民	未定	未定	生涯学習活動支援のため、夏休み・冬休み親子企画、バンビオライブ缶、文学講座、3Dプリンター講座など複数の講座開催	継続
	生涯学習相談・支援業務 (中央生涯学習センター・ 生涯学習団体交流室)	通年	市民	未定	生涯学習相談員	生涯学習活動支援のため、市内外の情報提供、サークル立ち上げ、ちらしづくり等の指導、印刷学びたい人へボランティア講師の紹介等	継続
	わくわく講座 (生涯学習団体交流室)	通年 (10~12講座)	市民	未定	生涯学習ボランティア登録者が 中心に講師となり実施	「教えたい」人、「学びたい」人の生涯学習の第一歩を応援するため、中央生涯学習センターにて、ニーズに合わせた様々な講座開催	継続
	学校特別教室等の開放 (生涯学習課)	通年	市内の生涯学習を行う団体	未定	—	広く市民に生涯学習の場を提供するため、市立小学校特別教室等24教室を開放	継続
	少年少女発明クラブ (中央公民館)	5月~2月 12回	市内在住 小学4年生~ 6年生	各25人	発明クラブ指導員	基本的な工作づくりや自由な発想でものづくりにチャレンジする。(※(公社)発明協会・(一社)京都府発明協会の助成金事業)	継続
	男女共同参画講座 (中央公民館)	実施日未定 1回	市民	未定	未定	自発的な家庭への参画や実生活の自立を促すため、男性のスキルアップを目指す。	継続
	聴覚障がい者学級 (中央公民館)	実施日未定 1回	市内在住 ろうあ者及び 難聴者	未定	未定	障害者の交流や情報交換・社会参加の場となることを目指す。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
①生涯を通じた学び の機会の充実	市民企画講座 (中央公民館)	5月～3月 随時 31企画	市民	未定	企画者及び企 画者グループ	公民館が指定するテーマ(①こども②くらし③か がやき④まち⑤みどり⑥けいえい)から選択し、市 民自ら講座の企画・実施をする。	継続
	熟年いきいき講座 (中央公民館)	毎月第2水曜 日 ※8月は第1水 曜日 12回	市民	各150人	島袋 貞則 氏	他の人と共に歌唱することで、互いの共感や連帯 感を生み出し、会話が促されやすくなることを利用 し、仲間づくりにつなげる。	継続
②地域に広がる学び への支援	社会教育関係団体活 動費補助金 (生涯学習課)	通年	市民 市内社会教育 団体	約10団体	—	社会教育の振興、発展を図るため、要綱に即し市 内社会教育団体に対し、補助金を交付	継続
	生涯学習推進事業助 成金 (生涯学習課)	通年	市内の生涯学 習を行う団体	3～10件	—	広く市民の生涯学習活動及び事業に対して、支 援・助成を行うため、事業立ち上げから通算2か年 目までの事業に対し、要綱に即して助成金を交付	継続
	子育てボランティア養成 いろは講座 (中央公民館)	1～3月頃実施 予定 5回	現ボランティア と市内在住在 勤の登録を希 望するもの	各20人	未定	公民館主催事業、子育て支援事業のスタッフとし ての、子育てボランティアの養成および支援を行 う。	継続
	サポーターふれあいネッ ト (中央公民館)	毎月第3水曜 日 12回	中央公民館子 育てボランティ ア	各24名		サポーターとして活動する者が一堂に会すること で、「子育てふれあいルーム」運営に関し情報を共 有するとともに、サポーター同士のネットワークをつ くり、人的、質的調整及び連絡を図り互いに学びあ う。	継続
	家庭教育講座 (中央公民館)	実施日未定 1回	市内在住 2歳～3歳とそ の保護者	未定	京都西山短期 大学仏教学科 仏教保育専攻 の学生のみな さん	市内に設置されている短期大学の協力を受け共 同講座として実施する。学生が進行し、出し物や ゲーム等のふれあい活動を行う。	終了

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
	京都西山短期大学連 携事業 (中央公民館)	実施日未定 1回	市民	未定	未定	中央公民館、生涯学習課、京都西山短期大学が 連携し、市民向け講座を実施する。	継続
③人を育む読書活動 の推進	よもう!たのしもう! かがくの本! <small>市民提案型</small> (図書館)	年4回	小学生 大人	各30人	科学の本読み 聞かせの会・ ほんとほんと	本と体験を通じて、子どもから大人まで広くかがく の本の魅力を伝え、自然を大切に作る心を育て科 学的な目を養う講座やイベントを開催する。	継続
	身近な科学あそび <small>市民提案型</small> (図書館)	年1回7月予定	小学生	30人	科学と あそびの会	身近な材料を使った実験や工作を通して、不思議 や疑問を感じ調べたり工夫したりする喜びを培い、 更に探求の読書につなげる。	継続
	むか~しあったとき おはなしなあに いい本みつけ 大人のための昔話 おはなし講座 <small>市民提案型</small> (図書館)	むか~しあったと き・おはなしなあ に(年12回) いい本みつけ (年1回) 大人のための昔 話(年12回) おはなし講座 (年1回)	幼児~小学生 (低~中) ※「大人のため の昔話」、 「おはなし講 座」は大人	未定	長岡京おはなし の会ささぶえ	ストーリーテリングや読み聞かせなど、豊かな言葉 の体験を通して子どもの想像力の土壌を育む。大人 に向けておはなしの良さを伝えるため、また語り 手の研鑽の場としても講座やイベントを行う。	継続
	めっちゃ図書館 <small>市民提案型</small> (図書館)	年6回 (偶数月)	3歳~小学校 低学年	各40人	ブックコミュニ ケーターズ めっちゃとしよ	子どもに図書館や本を身近に感じてもらうため、読 み聞かせ他様々な体験型のイベントを行う。	継続
	文庫まつり 文庫講習会 <small>市民提案型</small> (図書館)	文庫まつり (年4回) 文庫講習会 (年1回)	小学生以下の 子どもとその 親	未定	長岡京市文庫 連絡会	子どもに本に親しんでもらうための読み聞かせや 手遊びなどのイベントを行う。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
	ぶんこピクニックin勝竜寺城公園 (図書館) 市民提案型	不定期 (土曜日)	幼児~小学生 (低~中)	各10人	長岡京市文庫 連絡会	読み聞かせや手遊びなどを勝竜寺城公園で行う。	継続
	子どもの本を読む会 (図書館)	毎月木曜日 ※8月・9月休み	大人	各18人	図書館司書	本を通じて教養の交流の場作りを目的とし、大人による子どもの本の読書会を行う。	継続
③人を育む読書活動の推進	読書講演会 (図書館)	未定	大人	各50人	やすいやくし氏 他	生涯を通じた学びの場として、歴史研究家や児童文学作家を講師として招き、大人向けに講演会を行う。	継続
	戦争と平和の読み聞かせ (図書館)	年1回7月予定	来館者	未定	図書館司書	7月19日の平和の日に合わせて1・2階で平和にまつわる本の展示貸出、絵本の読み聞かせを行い平和や人権の理解を深める。	継続
	10代向けイベント (図書館)	不定期	中学生・高校生	未定	図書館司書	特に10代に向けて図書館をより身近に感じてもらうため、様々な参加・体験型の取り組みを企画する。	継続
	えほんのひろばinバンビオ (図書館)	8/8 12/5	乳幼児親子	各10組	図書館司書 えほんのひろばグループ	市東部の総合交流センター(バンビオ)で開催するおはなし会。絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	継続
	読書ボランティア養成講座 (図書館)	10/23	大人	30人	大川久美子氏	絵本の選び方や読み聞かせの技術指導を行う。	継続
	金のうろこ講演会 (図書館) 市民提案型	3/14	市民	50人 (予定)	金のうろこ	大人も子どもも一緒になって好きな絵本を紹介し合い、絵本の面白さに触れる。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
	えほんのひろば (図書館)	毎月1回 ※8月・12月休み	乳幼児親子	各10組	図書館司書	乳幼児とその保護者向け読み聞かせ、絵本の選び方・読み聞かせ方などの相談を行う。	継続
	英語絵本の選び方・読み方講座「英語のいつ」 市民提案型(図書館)	6/29 12/14	乳幼児～大人	10家族	塩見徳子氏	英語で書かれた絵本をお家で楽しむ方法を学ぶ。	継続
	としょかん文学講座 (図書館)	未定	大人	10人	図書館司書 北畑博子氏	宮沢賢治の研究者である司書や、文学に造詣の深い講師による講座を開催する。	継続
④人権教育・多様性 への理解の推進	人権啓発事業 (生涯学習課)	11月～ 令和8年2月	社会教育団体 市民	未定	未定	市民への人権教育・啓発推進のため、下記事業を実施 ・「社会教育関係団体指導者研修会」の開催 ・「人権問題研究市民集会」の開催 ・人権啓発作品(標語・ポスター・写真)の募集	継続
	多文化共生子育て講座 (中央公民館)	実施日未定 1回	市内在住 2歳～3歳とその保護者	10組	未定	国際理解を促進するとともに、地域での在住外国家族との交流を通して親子が心豊かに生活できるよう多文化共生に対する意識を高める。	継続
	平和フォーラム (中央公民館)	7月19日	市民	未定	—	世界の現実を直視する中で、平和の尊さや意味をみんなで考える。	継続

令和7年度 社会教育関係事業計画書

基本目標	生涯を通じた、多様な学びによる豊かな人づくり、地域づくり
基本施策	文化・スポーツの振興と文化財の保存活用

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
①文化・芸術の振興	第34回名月の宴 (文化・スポーツ振興課)	9月13日	市民	約800人		勝竜寺城公園で古典芸能の公演を開催する。 (主催:文化協会)	継続
	第63回市民文化まつり (文化・スポーツ振興課)	10月17日 ~19日	市民	約3,000人		市民の美術工芸作品の展示や芸能発表等を中央 公民館等で開催し、日頃の文化芸術活動への意 欲の醸成を図る。発表の場として開催する。 (主催:文化協会)	継続
	第34回長岡京展 (文化・スポーツ振興課)	3月6日 ~8日	市民	約2,000人		一般公募の審査展として、日本画・洋画・書・写 真・工芸の5部門の作品展覧会を開催。 (主催:文化協会)	継続
	駅前広場コンサート (文化・スポーツ振興課)	5月4日	市民	約1,400人		バンビオ広場にて中高校生等の野外吹奏楽コン サートを開催する。	継続
	文化賞顕彰事業 (文化・スポーツ振興課)	10月25日	市民	8個人 4団体		芸術文化の振興に功績のあった者や団体を顕彰 する。(文化功労賞・文化交流賞・文化奨励賞・文 化技能賞)	継続
	乙訓文化芸術祭 ①合唱フェア ②バレエの祭典 (文化・スポーツ振興課)	①2月8日 ②3月15日	市民	①約2,000人 ②約900人		乙訓地域の合唱及びバレエ活動を行うアマチュア 団体が長岡京記念文化会館で発表会を開催す る。 (主催:乙訓文化芸術祭実行委員会)	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何をを行うか)	継続・新規 終了・統合
①文化・芸術の振興	長岡京芸術劇場 ①長岡京室内アンサンブル～森悠子追悼コンサート～ ②第37回長岡京市中学校吹奏楽合同演奏会 ③劇団四季ファミリーミュージカル「王子と少年」 ④夏井いつき句会ライブ ⑤京都芸大企画コンサート「クラシックを聞いてみよう」 ⑥国民文化祭記念コンサート (文化・スポーツ振興課)	①7月12日 ②7月21日 ③7月31日 ④8月2日 ⑤10月25日 ⑥12月14日	市民	各800人		音楽を中心にした芸術・文化創造活動を育み、音楽活動による潤いのある豊かな街づくりを目指し、アマチュアからプロまでの幅広い5演奏会を開催する。 (主催:長岡京芸術劇場実行委員会)	継続
	文化奨励事業補助 (文化・スポーツ振興課)	通年	各種団体	7団体		広く市民の模範となる文化芸術活動及び事業に対して、支援・助成し文化芸術振興に取り組む。	継続
②スポーツの振興	スポーツ推進審議会 (文化・スポーツ振興課)	6月・3月	審議会委員	14人		教育委員会の諮問に応じてスポーツ振興に関する重要事項の調査・建議を行う。	継続
	スポーツ推進委員活動 (文化・スポーツ振興課)	4月・6月・11月・3月	市民	延べ150人		ポールハイキング(年4回)	継続
	スポーツ賞顕彰事業 (文化・スポーツ振興課)	10月25日	市民	約90個人 約20団体		スポーツ振興に功績のあった者や団体を顕彰する。(スポーツ特別顕彰、市民栄誉賞、特別優秀選手賞、特別栄誉賞、特別賞、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞、マスターズ賞、わかたけ賞、草の根スポーツ賞) 令和6年度:89個人、14団体	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何をを行うか)	継続・新規 終了・統合
②スポーツの振興	地域スポーツ振興事業 (文化・スポーツ振興課)	通年	市民	—		各校区社体振や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員協議会へスポーツ普及活動を事務委託し、スポーツを通じて地域コミュニティの醸成を図る。	継続
	第37回市民スポーツ フェスティバル (文化・スポーツ振興課)	10月～3月	市民	約2,500人		・総合型クラブフェスティバル(各小学校区・乙訓高校)実施予定。 ・体力測定、フェンシング教室、各種スポーツ教室等実施予定。	継続
	第41回若葉カップ全国 小学生バドミントン大会 (文化・スポーツ振興課)	7月31日～8 月3日	各都道府県 チーム	男女96チーム 参加予定		西山公園体育館及び向日市民体育館にて小学生のバドミントン全国大会を開催し、競技力の向上と交流の機会とする。	継続
	第61回市民大運動会 (文化・スポーツ振興課)	10月上旬 (予定)	市民	約10,000人		市内10小学校一斉に大運動会を開催し、スポーツレクリエーションの体験機会を提供する。	継続
	第44回長岡京ガラシャ ロードレース (文化・スポーツ振興課)	11月3日	市民	約800人		西山公園体育館をスタートし、10キロ、5.0キロ、3キロコースの各コースで健脚を競う。	継続
③文化財の保存と活用	講演会「(仮)昭和大礼 における下賜建物の転 用と乙訓寺客殿」 (文化財保存活用課)	未定	市民	60人	京都市文化財 保護課 文化 財保護技師 原戸喜代里氏	「7つのものがたり未来プロジェクト」に基づき、寺社等を会場とし、その歴史文化を市民をはじめとした多くの方々に広めることを目的に実施。乙訓寺の客殿が昭和大礼で下賜された貴重な価値を持つものであることを共有することで、次世代に継承していくきっかけを作る。	継続
	市内周遊イベント (文化財保存活用課)	11月～12月 予定	市民・市外か らの来訪者	約1,500人		「7つのものがたりまちなかプロジェクト」に基づき、市民・市外からの来訪者を対象に、歴史文化の特徴「7つのものがたり」の浸透強化を図ることを目的に実施。 今年度は、「7つのものがたり」を基に、音声ガイドやスタンプラリー等のデジタルコンテンツを活用した市内周遊事業を実施し、より身近で分かりやすい形で歴史文化の魅力を伝えていく。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
③文化財の保存と活用	ふるさとワーク (古文書講座) (文化財保存活用課)	5月～8月の計 4回	市民	約100人		地域の歴史について理解を深めるとともに参加者の資料読解力向上のため、これまで調査収集してきた歴史資料をテキストにした学習会を開催する。	継続
	調査成果報告会 (文化財保存活用課)	7月予定	市民	約70人		発掘調査成果の概要を速報として紹介する。 (主催:(公財)長岡京市埋蔵文化財センター)	継続
	特別企画展 (文化財保存活用課)	11月の1か月	市民	約600人		長岡京跡に関する展示を行う。 (主催:(公財)長岡京市埋蔵文化財センター)	継続
	文化財講演会 (文化財保存活用課)	11月予定	市民	約70人	未定	埋蔵文化財への関心を育むための講演会を行う。 (主催:(公財)長岡京市埋蔵文化財センター)	継続
	スライドでみるおとくに の発掘 (文化財保存活用課)	3月上旬	市民	約70人	未定	近年に実施された発掘調査の成果を紹介。 (主催:乙訓文化財事務連絡協議会)	継続

令和7年度 社会教育関係事業計画書

基本目標	子どもを中心につながる地域の学びの場の推進
基本施策	家庭・地域・学校の連携・協働による教育の充実

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何をを行うか)	継続・新規 終了・統合
①地域ぐるみでの育成活動の推進	青少年健全育成地域活動支援事業 (生涯学習課)	通年	市民 青少年	約140人 (少年補導委員数)	—	青少年の見守りや健全育成のため、各種パトロール、啓発活動、研修、中学生とトークなど地域の事業を支援、実施	継続
	たそがれコンサート (生涯学習課)	9月予定	市民	未定	—	「少年を非行からまもる運動」の一環として、青少年に課外活動の場を提供し、青少年健全育成に資するため、中高校生等の吹奏楽コンサートを開催	継続
	地域で支える中学校教育支援事業 (生涯学習課)	通年	市民 市内4中学校	未定	地域住民や登録者によるボランティア	・地域全体で、学校教育を支援する体制づくりを推進 ・地域住民がボランティアとして、学校が求める教育活動を支援することにより、学校を核とした地域コミュニティを醸成 上記目的のため、地域住民を中心としたボランティアによる学習支援、授業・部活動補助・図書館開室支援等を実施	継続
②家庭教育への支援の充実	教育相談事業 (教育支援センター)	通年	市内在住の小中学生及び保護者、教職員	(R6実績)面接相談延べ3092件。電話相談1441件		地域の中で安心して子育てを行える環境を整えるために、教育相談(教育相談、就学相談、発達検査、プレイセラピー)事業を行う。	継続
	ぴよぴよクラブ(幼児家庭教育) (中央公民館)	4~9月(前期)及び10~2月(後期)の第4木曜日または金曜日 10回	市内在住2歳~3歳とその保護者	各15組	中央公民館子育てボランティア	2~3歳の親子同士が交流を図る中で、共に育っていくことを応援する。また、子育てを通じたネットワークづくりにつなげる。	継続

令和7年度 社会教育関係事業計画書

基本目標	子どもを中心につながる地域の学びの場の推進
基本施策	子どもを健全に育む場の推進

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
①放課後児童対策の 充実	放課後児童クラブ育成 事業 (生涯学習課)	通年	市内小学生	約1,400人	放課後児童ク ラブ指導員	放課後等における安全・安心な居場所として、就 労等により昼間、保護者が家庭にいない児童の学 びの場として、放課後児童クラブを運営管理する。	継続
②体験・交流の場の 充実	長岡京市すくすく教室 (放課後子ども教室) (生涯学習課)	各校平均 年間約40日	市内小学生 地域住民	未定	地域住民によ るボランティア	放課後等における安全・安心な居場所として、学び の場、体験の場、交流の場、遊びの場及び生活の 場を設定し、学習活動、スポーツ活動、文化活動、 伝統技能の体験などを実施 各校平均 約90の活動内容を実施	継続
	地域子ども体験交流活 動事業 (生涯学習課)	10月11日～ 12日予定	市内小中学生	定員約23名 予定	どんぐり会(子 供会指導者連 絡協議会)	ジュニアリーダーを育成し、また、児童生徒の学校 外での健全育成の場づくりのため、野外活動など を実施 今年度は海洋体験を実施予定	継続
	西山キャンプ場管理運 営 (生涯学習課)	4月1日～11 月10日	市民	約250人	—	青少年の健全育成のため、体験活動ができる場 の提供及び一般市民の生涯学習活動の場の提供 のため、西山キャン 場を管理運営	継続
	子育てふれあいルーム (中央公民館)	第1・3・5火曜 日、第2木曜日、 第4水曜日 72回	市内在住3ヶ 月～就学前の 親子	未定	中央公民館子 育てボランティ ア	保護者同士の交流や親子のふれあいと学びの場 あるいは居場所づくりとする。	継続
	和太鼓くらぶ (北開田児童館)	木曜日 月3回程度	長六小校区の 小中学生	18人	北開田響太鼓	日常・継続的に活動することにより、地域の伝承文 化として和太鼓を根付かすとともに「仲間づくり」 の推進を図る。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何をを行うか)	継続・新規 終了・統合
②体験・交流の場の 充実	習字くらぶ (北開田児童館)	金曜日 月3回程度	長六小校区の 小学生	36人	織田 恭仁子 氏	日常・継続的に活動することにより、集中して物事 に取り組む習慣や、礼儀を身につけるとともに習字 の習得を図る。	継続
	ダンス教室 (北開田児童館)	水曜日 月3回程度	長六小校区の 小学生	26人	AKJ	日常・継続的に活動することにより、ダンスの習得 と地域外の子どものとの交流を通し「仲間づくり」を 図る。	継続
	小学生 キャンプ教室 (北開田児童館)	8月17日～18 日	長六小校区の 小学4～6年	30人	児童館職員 ボンバース	大自然の中で地域内外の仲間とともに生活するこ とにより、豊かな感性を育て、集団活動・規律・協 力の大切さを学ぶ。	継続
	和太鼓くらぶ合宿 (北開田児童館)	未定	和太鼓くらぶ のクラブ員	未定	北開田響太鼓	響太鼓の指導を受け、集中的に太鼓の技能を習 得するとともにクラブ員同士の交流を図る。	継続
	キッズナ・フレンド (北開田児童館)	2月28日	北開田地域の 小中学生	15人	児童館職員 ボンバース 等	仲間とのつながりを強めていく中でお互いの生き 方を高めあうとともに豊かな人権感覚を身に付け ることを図る。	継続
	和洋折衷(児童館くら ぶの合同発表会) (北開田児童館)	3月15日	市民	100人	北開田響太鼓 AKJ	太鼓と習字、ダンスの合同発表会を開催すること で、日頃から目標を持って活動に取り組み、1年間 の練習成果を発揮する。	継続
	小学生体験教室 (北開田児童館)	未定	長六小校区の 小学生	延べ100人	児童館職員	体験活動を通して新鮮な発見と驚きを得ること により子ども達の豊かな感性を培う。	継続
	手作り教室 (北開田児童館)	年3回	長六小校区の 小学生及び児 童館に来館し ている小学生	延べ150人	京都府職業能 力開発協会 児童館職員	子ども達に物を作る楽しさ、特にオリジナルな物を 作る喜びを提供する。	継続

施策の方向性	社会教育関係事業名	実施日(期間)	参加対象	参加予定人数	講師・指導者等	内容(何のために、何を行うか)	継続・新規 終了・統合
②体験・交流の場の 充実	料理教室 (北開田児童館)	年4回	長六小校区の 小学生	延べ70人	児童館職員	作る楽しさを知り、継続的な取り組みとして定着させ、楽しい時間を共有できる場を提供する。	継続
	子育て講演会 (北開田児童館)	未定	北開田地域の 保護者	未定	児童館職員 北開田会館職員	保護者を対象に、親の姿勢や考え方について啓発を図り、子育てに関する教育力を高める。地域懇談会時に同時開催。	継続
	たけのこ教室 (北開田児童館)	年4回	北開田地域の 幼児とその兄弟・保護者、深田保育所年長組園児とその兄弟・保護者	延べ60人	京都府職業能力開発協会 深田保育所職員 児童館職員	就学前の幼児を持つ親が、子育てについて学び、語り合える支援の場とするとともに、友達との関わりを築く。	継続
	子育てサロン (北開田児童館)	34回	乳幼児親子	500人	今井 一美氏 子育て支援センターたんぽぽ	集団の中での遊びを楽しむ。来館した乳幼児親子同士の交流を促し、交流の機会をつくり、仲間づくりを支援。	継続
	児童館ニュースの発行 (北開田児童館)	年6回	長六小児童と 地域住民と関係機関	300部/回	児童館職員	児童館ニュースを発行することにより、児童館活動の紹介、行事等の案内を周知する。	継続
	北開田子ども会の育成 と活動支援 (北開田児童館)	通年	北開田子ども 会後援会	1団体	児童館職員	地域の子ども会活動を支援し、家庭相互の交流を深め地域の連帯感を高めることにより、地域の子どもの健全育成と家庭教育力の向上を図る。	継続